

～新市庁舎のあり方に関する
市民会議



盛岡の未来への視点

市民会議～全体スケジュール～

■構成

- ①事務局から概要説明
- ②参加者のディスカッションと意見の集約

■スケジュール

第1回

• 7月2日（土）今の市庁舎の課題を挙げてみよう

第2回

• 8月6日（土）「こんな市庁舎だったらいいな」を考えよう

▶ 第3回

• 8月27日（土）市役所窓口の未来を想像（創造）しよう

第4回

• 10月1日（土）求められる市庁舎のかたちを考えよう

第5回

• 10月29日（土）これまでを振り返り、市に提案しよう

第6回

11月12日（土）報告会（公開）

市民会議～各回のスケジュール～

1. 概要の説明

2. ワークショップ

3. グループ発表

4. 講評

5. 結び

話し合いのグラントルール

- 1** 自分の意見を押し付けないこと、相手の意見を否定しないこと
相互尊重
- 2** 一つの答えを出すことを目的とせず、意見交換をし、出た意見を尊重すること
多様な視点
- 3** 誰しもが、公平で積極的な発言の機会があり、その発言を妨げないこと
公平な機会

出された意見を建設的なものに転換する

心理的安全性

■心理的安全性とは

チームの中で、地位（立場）や経験に関わらず
率直に意見を言ったり、素朴な疑問を言い合える状態

——— チームの状態を図る物差し ———

「話しやすさ」

「助け合い」

「挑戦」

「新奇歓迎」

自己紹介と役割分担

① 自己紹介（30秒）

② 役割分担

- ・ ワークショップ進行役
- ・ 記録係
- ・ 発表者

5分

模造紙に記載をお願いします

テーマ：「市役所窓口の未来を想像（創造）しよう」

令和4年8月27日

〇班：氏名、

模造紙

1. 概要の説明

2. ワークショップ

3. グループ発表

4. 講 評

5. 結 び

1. 概要の説明

2. ワークショップ

3. グループ発表

4. 講 評

5. 結 び

第2回市民会議のゴール

市役所窓口の未来を想像（創造）する

1. 個人ワーク

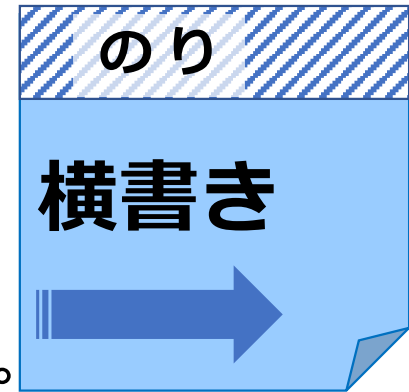
未来の窓口のあり方や機能を考える

●付箋に書き出す

10分

付箋に書き出すときの要領

- 1枚の付箋に「1点」のみ書きます。
- 付箋に横書きします。（粘着部分が上に来るように）
- グループ内で共有しますので、読みやすい文字で書きます。
- キーワードだけではなく、どのような内容であるかわかるよう書き出します。
- 小さなことであっても、他者には重要な観点であることがあります。



思いつく限りの意見を数多く書き出すことを意識しましょう。

話し合いにおいて

■話し合いの視点

* 利用したい市庁舎の窓口が未来思考で語られているか

■話し合いの注意点

* **公平な持ち時間**を意識しましょう

* お互いを尊重し、どんな意見にも耳を傾けましょう

付箋の使い方（貼りだす時）

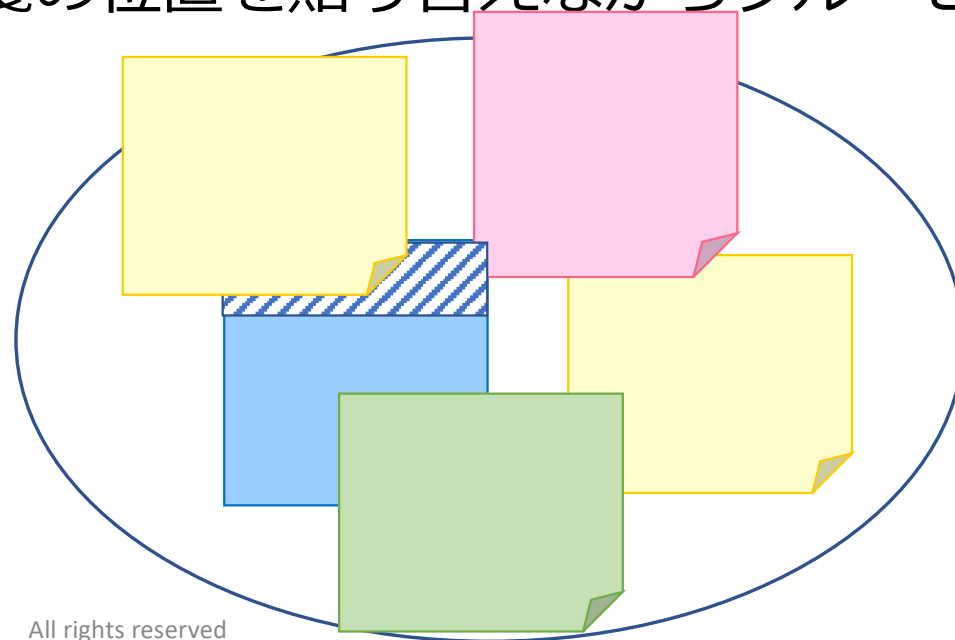
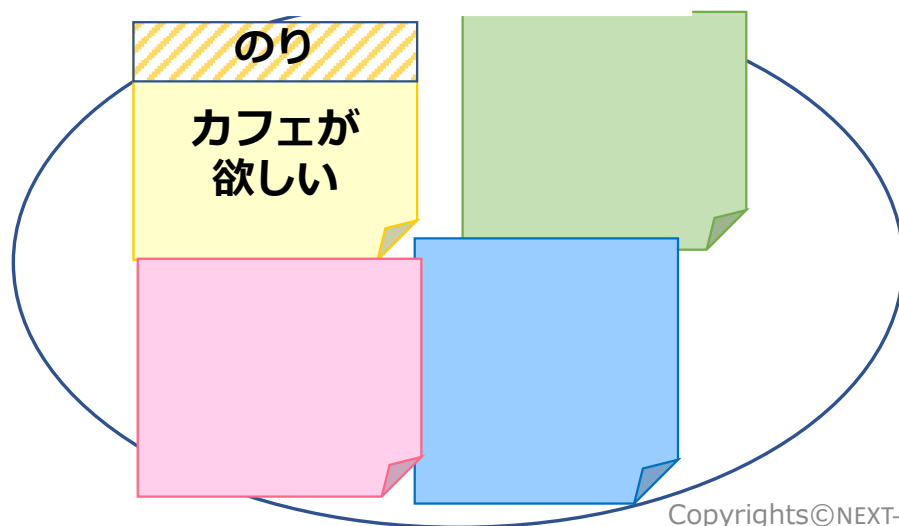
■共有・グルーピング（項目ごとのまとめ）するときのルール

- ・メンバーに聞こえる声でアイデアを読み、紙に貼りだします。
- ・同じ意見、関連するアイデアを持っている人は、その場で意見を言い貼りだします。

（共有をスムーズにするだけでなく、グルーピングも同時に進める）

- ・関連するアイデアは近くに貼り、付箋の位置を貼り替えながらグルーピングします。

市民が集まる場



2. ワークショップ > グループワーク

●共有

- 項目ごとにグループ化する
- ディスカッション
- 発表に向けてまとめる

約70分

グループ発表に向けて意見をまとめましょう！

1. 概要の説明

2. ワークショップ

3. グループ発表

● 1グループ
5分

4. 講 評

5. 結 び

1. 概要の説明

2. ワークショップ

3. グループ発表

4. 講 評

岩手大学教授

工学博士 南 正 昭 先生

5. 結 び

第4回市民会議 (次回予告)

10月1日(土) 13:30~16:30
勤労福祉会館大ホール

求められる市庁舎のかたちを考えよう

1. 概要の説明

2. ワークショップ

3. グループ発表

4. 講 評

5. 結 び

事務局より



お疲れ様でした！